

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		小学生稲作体験助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	大久保 志穂
	基本事業	32	後継者の育成			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款6	項1	目8	事業連番10276	法令根拠	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農業・農村理解のため米作り・稲刈り体験活動支援事業食育の重要性についてあらゆる場面で言及される機会が多くなってきている。子どもたちの教育として大変重要と考えている。
【業務の流れ】	J A 菊池青年部及びPTA主催による市内4小学校児童の田植え、刈取り体験に対する事業費の補助金支払い事務(申請書の確認、起案、決裁)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	子どもたちの教育として大変重要と考えている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	・補助金支払い事務	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) J A 合志中央支所青壮年部及びPTAからの事業申請受付から補助金確定までの一連事務
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:補助金交付件数	(単位)件 予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内小学生	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:米作り活動を実施した学校数 (単位)校
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・稲作体験を通じて、農業、農作物、食料について学習する機会を提供する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:学習の機会を得た児童の割合 (単位)%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 主催側の小学校及び学年の指定のため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
①活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2	2	2
②対象指標	ア	校	4	4	4	4	4	4	4	4
③成果指標	ア	%	14	14	14	15	14	14	14	14
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	147	147	147	147	147	147	147
		(A)事業費計	千円	147	147	147	147	147	147	147
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	50	30	40	25	40	40	40	
	(B)人件費計	千円	201	122	162	99	162	162	162	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	348	269	309	246	309	309	309	

事務事業名	小学生稲作体験助成事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 例年通りの申請がある見込みのため <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在の体験回数を増やすためには、体験圃場等の問題もあり、現在の規模が適当であるため。また、決まった学年での定例行事であれば殆どの生徒が一度は稲作を経験することとなる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 JAの青壮年部会員等に委託できないか検討の余地がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在地域の子供会等で体験学習を実施しているところもあるが、水田(圃場)の借り上げ・肥培管理等の課題もあり実施にいたっていない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付一連事務で必要最小限である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内7小学校の内の5校が体験学習を行っているが、内1校は実施主体が小学校であるため助成事業には該当していない。他の小学校でも体験学習を行っていれば助成すべきだと考える。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の基幹産業である農業について、子ども達に理解を促すこの事業は行政が行うにふさわしい事業である

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

例年通りの事業を行うことができた

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					